

## イグナズ・シュイン；世紀にわたる革命を祝して

2015年07月20日

現在のシュインフィットネス前身であるアーノルドシュイン&カンパニーは、1895年、当時としては最先端のレース用自転車の設計と製造を手掛ける小さな会社として、シカゴのダウンタウン、西の外れで産声を上げました。



イグナズ・シュインは彼の仲間でもあり資金提供者でもあるドイツ人、アドルフ・フレデリック・ウィリアム・アーノルドと自転車レースのチームを作り、その地方の全ての有名なレースに参戦してタイトルを総なめにします。わずか数年で、同社はアメリカの自転車産業で、技術面、品質面におけるリーダーとして知られるまでになりました。100年以上経った現在、シュインブランドは世界的なブランドとなり、いつの時代にも最も愛され、最も馴染みのある自転車を作り続けています。

1933年に同社が採用した自転車用バルーンタイヤはすぐに業界標準となりました。1963年には新型車 Sting-Ray®を市場に投入します。握る部分が高く持ち上がったハンドルが特徴的なこの自転車は、バナナシート、スティック式ギアチェンジ、レース用スリックタイヤを装備していました。



この伝説的メーカーは、続く1966年に室内用自転車シュイン・エクササイザーバイク、1978年にはシュイン・エアードインを発表します。

シュインが1990年代初頭に市場に投入したシュイン・スピナーバイクは、まさに革新的であり、現在のインドアサイクリングビジネスに革命を起こしたと言っても過言ではありません。そして現在、インドアサイクリングバイクの世界最大手メーカーとし

て、また、講習会を通じて最も先進的な教育プログラムを提供するメーカーとして、シュインフィットネスは他社の追随を許しません。



2014年12月にはシュイン・カーボンブルー・インドアサイクリングバイクが日本に導入され、インドアサイクリング業界は強い関心を示しました。このバイクは、従来のチェーン式駆動装置を、高耐久性とスムーズな動作を保証するカーボンファイバー強化ベルト（＝カーボンブルーベルト）に換えたものです。科学的にも証明されたこの新技術のおかげで、シュインフィットネスは、インドアサイクリングの製品と教育の両方で、世界的リーダーの地位を確固たるものとしたのです。

コア・ヘルス&フィットネス社でアジア太平洋/ラテンアメリカ圏営業副部長を務め、同地域へのシュイン製品販売責任者も兼任するフランク・オローク氏は、次のように述べています。「わが社には、我々の素晴らしい製品をサポートする為に38,000人以上ものライセンスを持ったインストラクターがいます。我々がシュインフィットネスのビジネスとブランドの成長の一端を担っているのは素晴らしい事であり、全てはイグナズ・シュインが我々に遺してくれたものに対する称賛のしるしです。」

<シュインに関するお問い合わせ>  
株式会社 THINK フィットネス  
フィットネスプロダクツ事業部  
東京都江東区南砂3-3-6  
TEL: 03-3645-9801

Gregory L. Zink  
CEO, Nautilus Group Japan